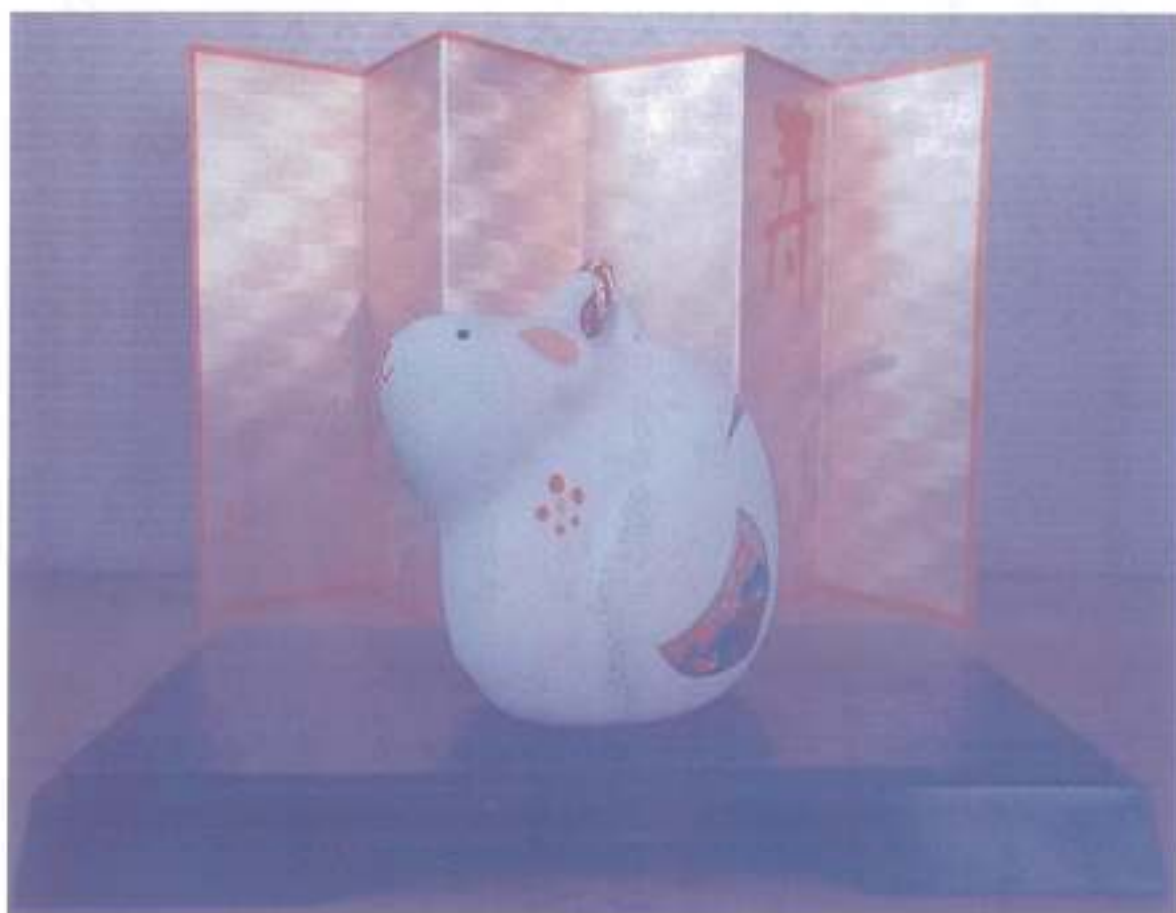


# ふれあい新聞

新年号



令和2年 干支 「子」

発行日 令和2年1月1日 第76号  
発行 社会福祉法人 瑞穂会  
ふれあい新聞編集部  
本部 〒444-0936  
岡崎市上佐々木町字大官49番地  
TEL (0564) 34-3666  
FAX (0564) 34-2347

## 新年のご挨拶

令和2年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、私たち社会福祉法人瑞穂会の法人・施設運営に  
対し、ご利用者・ご家族の皆様方、地域の皆様並びに関係  
諸機関の皆様の多大なるご支援・ご協力を賜り、心よりお  
礼申し上げます。私ども瑞穂会も皆様方のお力添えをもち  
まして、無事に新年を迎えることができました。

さて、昨年5月1日、新元号「令和」に改元されました。  
振り返って見ますと平成の時代は戦争のない平和な時  
代でしたが、一方、少子高齢化、人口減少が進み日本社会  
の縮小が始まった時代でもありました。

国内市場の縮小により成長力は低下、これにより起きた  
経済の低迷、人手不足、格差社会問題、社会保障制度問題

等はかなり深刻で、法人・施設運営も大きな影響を受けて  
おります。

令和の時代の時代となった今、今後も加速して進むこと  
が予想される少子高齢化、人口減少等の問題を急激に好転  
させるような決定的な特効薬はないので、引き続き厳しい  
経営環境が見通されますが、瑞穂会は、ご利用者の皆様、  
地域の皆様及び関係諸機関等のご期待に沿うよう、地域福  
祉の向上に全力で取り組んでまいりますので、本年も更な  
るご支援・ご協力を心からお願ひ申し上げます。

末筆ながら、皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、新年の  
挨拶とさせていただきます。

令和2年 元旦

社会福祉法人 瑞穂会

理事長 手嶋 寛人

～ 面会の皆様へのお願い ～

**みんなで予防  
インフルエンザ**

マメな手洗いと咳エチケットで「かからない」、「うつさない」。

**咳エチケット**  
マスク、ティッシュ・ハンカチ、タオルなどで鼻と口をおおひきましょう。  
マメゾウくん

**手洗い**  
指先、指の間、親指、手首は特に注意して手洗いしましょう。  
ゴマゾウちゃん

厚生労働省  
インフルエンザに関する情報 今も インフルエンザ

QRコードを読み取りスマートフォンで検索するとスマートフォンで検索できます。

瑞穂会では例年通り、感染症対策としてご面会の皆様には  
面会前のトイレでのうがい・手洗い・エアータオル手指消毒  
マスクの着用・アルコール類での手指消毒を再度お願いしています。  
また、発熱や咳などの症状のある方につきましては、面会を自粛し  
ていただきますようお願い申し上げます。





日時

令和元年10月27日

午後2時～午後4時

場所

やはぎ苑 外苑

今までやはぎ苑では、お祭りをするならば、やはり「夏が一番」と夏にこだわり、夏まつりを開催してきましたが、近年の猛暑の中で開催するにあたり、十分な安全が確保出来るか大変心配でした。そこで、先に秋まつりを開催していただくわがいと同じように、やはぎ苑も今年から、秋まつりを開催することになりました。

なにぶん初めての秋まつりですので、くわがいの秋まつりを参考にしながら、やはぎ苑ならで

# 第1回 やはぎ苑 秋まつり



はのイベントも出来ないかと7月から秋まつり委員会を立ち上げ準備に入りました。いろいろな意見が出ましたが、先ずは、夏まつりでも大変好評だった「五平餅」を全て手作りで作ることが決定しました。そして屋台は、おやつ中心の屋台ということで、抹茶と一緒に楽しんでいただくとうと、「お茶会」を開くことが決定しました。更に、来ていただいたご家族の方にも喜んで頂くとうと、「青空やさい・くだもの市」が決まり、また、くわがいで好評という「フラダンスショー」をやはぎ苑でも、盛り上げて頂くとうとお願いしました。またショーの間には昔懐かしい「ボン菓子の実演」もお願いしました。こうした多くの皆様のご協力のもと記念すべき「第1回 やはぎ苑 秋まつり」は晴天のなか開催され無事終わることが出来ました。

しかしながら、進行上の不手際や予想以上にやさい・くだもの市に行列が出来てしまったり大変お待たせしてご迷惑を掛けてしまったり、屋台のおやつが早く無くなってしまうと反省すべきことも多くありました。そして10月も下旬になると、意外に寒いこともわかりました。

こうした反省点を来年に生かし、入居者の皆さんの素敵な笑顔がさらに多くみられるように来年以降も色々な企画を考えていこうと思っております。

秋まつり実行委員

手嶋 孝良



## 地域ケア会議



### 「災害に備えた地域支援者勉強会」

やはぎ苑包括 酒井信子

令和元年11月5日(火)午後1時30分より、やはぎ苑2階食堂にて「災害に備えた地域支援者勉強会(地域ケア会議)」を開催、地域の民生委員、総代、学区福祉委員、介護・福祉事業所、見守り事業所、市職員等59名の方に参加していただきました。

矢作支所管内の浸水実績等を説明した後、岡崎市役所地域福祉課より災害時避難行動要支援者支援制度や福祉避難所、社協包括より他学区での取り組みをお話していただき災害について考える機会となりました。

近年全国各地で台風や大雨による水害が多く、矢作地区は矢作川流域に位置していることから、質疑応答では不安の声が聞かれました。災害時の避難行動を行政や地域で担うのも必要であるが、自分事としてとらえ自分で何が出来るかを考え災害に備えていく事が大切であり、今後も災害について地域で勉強していきたいと思えます。





私たちは、デイサービスでの人と人との繋がりを大切に、笑って帰って頂く事を日々の目標にしています。

# デイサービス



柿とリンゴ作り



クリスマスツリー作り



激しい機能訓練は  
行いません。自宅で  
暮らす為に失っては  
いけない事を維持し  
て頂くサービス提供  
を行っています。



く

わ が い



昨年の暮れに「来年の干支を持  
って来たよ～」とステキな作品  
を手渡して下さいました。

これからも、たくさんの人に  
想われるデイサービスを目指し  
て行きたいと思います。

事業所が多様化する中で私達に何が出来るのか、利用者  
の方々が何を求めているのか、日々考えながら柔軟なサー  
ビス提供をさせて頂きたいと考えています。

皆さんがいつまでも皆さんで在り続けられる為に、より  
一層心に寄り添うサービスを心掛けていきます。



2020年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、グループホームかみさの家に対し、ご利用者様ご家族の皆様方、地域の皆様並びに関係諸機関の皆様の多大なるご支援・御協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本年度も、地域交流や季節行事を積極的に行って参ります。



(入所者様と共に作りました)

## かみさの家日記

10月23日

### ～島坂保育園交流会～

島坂保育園の園児が来てくれ、歌と踊りを披露してくれました。  
手作りのプレゼントも頂け、皆様喜ばれていました。



その後、サツマイモ掘りを行いました。  
「こうやって取るだよ」と園児と一緒に掘ったり、掘った芋を見て、「大きいね」と驚いたり、楽しまれていました。



# 10月26日

## ～矢作南小学校文化祭～



矢作南小学校の文化祭に、作品を出展してきました。  
夏頃より制作を開始し、会場では、「上手だね」「きれいに出来てるね」との言葉を多く頂けました。



# 10月27日

## ～やはぎ苑秋祭り～



やはぎ苑秋祭りを行いました。  
ポン菓子を見て「懐かしいね」と言われり、デザートを「美味しいね」と食べられていました。  
かみさの家では、輪投げを行ない、多くの方に参加して頂けました。

# 11月20・21日

## ～東公園 散策～

20日に晴ユニット、21日にほかほかユニットが東公園まで散策に行ってきました！



お弁当を持って、いざ！みんなで出発！  
まずは、園内をぐるりと紅葉狩りをしてから動物とのふれあい！「かわいいね〇」と貴重な体験をすることができました♪  
だけど…一番の楽しみは、やっぱりお弁当！！

みんなとワイワイしながら外で食べるお弁当は格別！！



# 第二やはぎ苑

今年度も、地元農家さんと一緒に、お米作りをしてきましたので、ご紹介します。



## 収穫祭

11月15日に、第二・第三やはぎ苑合同で収穫祭を開催しました。

当日は爽やかな秋晴れの中、多くの利用者さんに日向ぼっこをしながら、お餅つきの様子をお楽しみいただきました。

利用者さん、ご家族、お手伝いいただいた地域の方、職員みんなで、つくたてのお餅や、新米で作ったおはぎ・甘酒などを、収穫のお祝いをしながらおいしくいただきました。今年度も、お米作りを通して、利用者さんの思い出を振り返ったり、地域の皆さんと交流をしたり、日々移り変わる目の前の田んぼの様子を眺めたりすることができました。





百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電  
 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電  
 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電 百 喜 電

小規模特別養護老人ホーム

# 第三やはぎ苑



新年あけましておめでとうございます。  
 本年も宜しくお願い致します。

先日行ったクリスマス会の様子です。  
 職員が準備したケーキタワーをみんな  
 まで食べました。



美味しいケーキと沢山の笑顔、  
 楽しい時間を過ごせました。

…今年も皆様にとって良い年でありますように(´ω`)…

## 「矢北小学校にて二本立ての出前講座を開催」

はしめ地域包括支援センター 小原

十一月二十七日の三、四限目を利用し、二グループに分かれた六年生が教室を移動する形式で進めさせていただきました。水害に関する防災講座は市役所防災課の敷田様、認知症サポーター養成講座は包括の市川が担当いたしました。矢北小での開催は今回で二回目となります。

後日回収したアンケートは、(今日学んだことを)『お父さんやお母さんが認知症になった時』や、『私が生きている間には必ず起きる大災害の時』に役立たいといった、いかにも子供さんらしい好意的な内容が書かれたものがほとんどでしたが、中にはほんの少数とはいえ、『既に知っていることの確認程度にしかならなかった』という、大人顔負けの手厳しい意見もみられたため、包括職員一同、非常に驚かされております。



## 編集後記

昨年の12月、その年の世相を漢字一文字で表す師走恒例の「今年の漢字」が12日発表されました。令和最初の昨年は21万6325票の応募がありその中で、3万0427票を集め1位となった「令」(レイ・リョウ/いいつけ・おさ・よい)に決まりました。

天皇の譲位に伴う改元が行われたことで、明るく迎えられた新年号「令」和に、新時代に希望を託した年でした。

「令」和が日本最古の歌集「万葉集」からの出典で、海外に「Beautiful Harmony」美しい調和」と説明されたことや、「令」の字が持つ意味・書き方にも注目が集まりました。また法「令」改正、法「令」順守、警報発「令」、避難命「令」としても使われた年でした。

ここ数年大災害が毎年起きていますが、オリンピックイヤーの今年は、災害の少ない明るい一年になるといいますね。

